

～地域を災害から守るIT～  
**ITを活用した防災訓練を実施します。**

- 記者発表資料 -

国土交通省関東地方整備局では、ITを活用した国・地方公共団体・民間企業等の連携による防災訓練（IT防災訓練）を平成13年度より毎年、阪神・淡路大震災の発生した1月17日前後に、関東地方各地区（茨城、**栃木**、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨の9地区）で行っています。

**【訓練の目的】**

国土交通省関東地方整備局が整備してきた公共情報通信基盤（光ファイバ等）が災害時にどのように活用が図れるかを実証。

公共情報通信基盤（光ファイバ等）の他にも、様々なITシステム、ツール等の防災面（情報共有・連携等）での活用の可能性を探る実証実験の場を提供。

本訓練を活用し、防災関係機関に限らず、地域の様々な団体との連携を広げる。

**栃木ブロックでは、平成18年度IT防災訓練を次ぎのとおり行います。**

**【実施日時】** 平成19年1月17日 9：30～11：00頃まで

**【実施場所】** 栃木県内

**【参加機関】** 国土交通省 宇都宮国道事務所、渡良瀬川河川事務所、  
鬼怒川ダム統合管理事務所、日光砂防事務所  
栃木県、NPO e - とちぎ 栃木県 ICT 推進 NPO 協議会

**【実施予定の内容】**

栃木県内で大雨による災害を想定し、次のような訓練を実施します。

監視カメラ（河川・道路）を活用した被災情報の収集

Ku-SAT（衛星小型画像伝送装置）、衛星通信車、GPS+カメラ付き携帯電話を活用した被災情報の収集

TV会議システムによる国・県の情報の共有

災害対策支援システム による国・県・NPOの情報共有

GIS（地情報システム）を活用した被災状況管理システム

河川情報板、道の駅の情報機器を活用した一般住民への情報提供

HPを活用した一般住民への情報提供

平成19年1月15日（月）

国土交通省関東地方整備局

宇都宮国道事務所・渡良瀬川河川事務所

**発表記者クラブ**

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、栃木県政記者クラブ

**お問い合わせ先**

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所 副所長 金子 剛

TEL 028 - 638 - 2181（代表）

渡良瀬川河川事務所 副所長 萩野谷 守泉

TEL 0284 - 73 - 5551（代表）

